

衆議院予算委員会ニュース

平成 26.7.14 第 186 回国会第 18 号（閉会中審査）

7 月 14 日（月）、第 18 回の委員会が開かれました。

1 理事の辞任

- ・理事の辞任を許可しました。
理事 山田 宏君（次世代）

2 予算の実施状況に関する件

- ・外交・安全保障政策について、安倍内閣総理大臣、岸田外務大臣、太田国土交通大臣、小野寺防衛大臣、菅国務大臣（内閣官房長官）及び政府参考人に集中審議を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

高村正彦君（自民）

- ・「国の存立を全うし、国民を守るための切れ目のない安全保障法制の整備について」の閣議決定は、時間をかけた慎重な議論を経てなされたと思うが、安倍内閣総理大臣はどう思うか。
- ・集团的自衛権の行使は他の国々に許されているが、今回の閣議決定で容認する集团的自衛権の行使は、他国の行使と同様のものなのか。
- ・今回の閣議決定では限定的な集团的自衛権の行使を容認しているが、これ以上の行使を行う場合は憲法改正が必要になるのではないのか。

北側一雄君（公明）

- ・昭和 47 年の政府見解「集团的自衛権と憲法との関係」と武力行使の高三要件について、論理的な整合性は確保されているのか。
- ・高三要件は具体的にどのような基準で判断するのか。また、高三要件に基づく自衛の措置は、これまでの政府見解における集团的自衛権の行使と同じものなのか。
- ・日米の連携を強化することが抑止力の向上につながるのではないのか。また、紛争防止のために、今年 11 月の A P E C の際に日中首脳会談を開催すべきではないか。

海江田万里君（民主）

- ・集团的自衛権に関する閣議決定が、滋賀県知事選挙における自民党・公明党推薦の候補者の敗因となったと考えるが、安倍内閣総理大臣の見解を伺いたい。
- ・集团的自衛権行使容認の根拠として抑止力を過度に強調することは、国家間の対立関係をかえってエスカレ

ートさせてしまう危険性があるが、安倍内閣総理大臣の見解を伺いたい。

- ・今般の閣議決定が、中国や韓国、台湾などに懸念を招いているが、近隣諸国への説明が不足しているのではないのか。

岡田克也君（民主）

- ・いわゆる「武力の行使との一体化」について、我が国の支援活動範囲が「現に戦闘を行っている現場ではない場所」となったことによって、自衛隊員の安全に対するリスクが高まったのではないのか。
- ・機雷敷設によるホルムズ海峡封鎖が、高三要件における我が国に対する武力攻撃の発生により我が国の存立が脅かされる事態と同等の事態に当たると考えるのか、安倍内閣総理大臣及び太田国土交通大臣の所見を伺いたい。
- ・国際紛争停戦前の機雷掃海活動は、高三要件における必要最小限度の実力行使の範囲内と考えるのか、安倍内閣総理大臣の所見を伺いたい。

松野頼久君（維新）

- ・集团的自衛権行使の要件について、国際司法裁判所は被攻撃国による攻撃事実の宣言及び他国に対する援助要請を挙げており、我が国が集团的自衛権行使を容認する場合も同様の要件が必要とされると考えるが、岸田外務大臣の認識を伺いたい。
- ・今回の閣議決定によって認められる機雷掃海活動は、従来の政府答弁を変えるものと思料されるが、安倍内閣総理大臣の認識を伺いたい。

- ・機雷掃海活動は集団的自衛権に基づく武力行使に該当する可能性があるが、今回の閣議決定によって集団的自衛権行使を憲法上認めるという認識であるのか、安倍内閣総理大臣の所見を伺いたい。

柿 沢 未 途君 (維結)

- ・他国を守るのではなく、あくまで自国を守ることを基調とした今回の閣議決定は、個別的自衛権の範囲内と言えるのではないかと。安倍内閣総理大臣及び太田国土交通大臣の所感を伺いたい。
- ・新3要件と自衛隊法第76条の「明白な危険」の違いについて小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・今回の閣議決定を巡る歴代内閣法制局長官の否定的な発言について、安倍内閣総理大臣はどのように捉えているのか。

今 井 雅 人君 (維結)

- ・海外での安全保障分野に關した踏み込んだ発言は誤解されるおそれがあると考えますが、安倍内閣総理大臣の認識を伺いたい。
- ・「新三要件」を満たしていれば国連の集団安全保障措置への参加が現行憲法下でも認められる可能性について、安倍内閣総理大臣の所見を伺いたい。
- ・米国からの武力行使の参加要請を断ることで日米同盟の信頼関係を棄損すると考えられるケースについても、「新三要件」を満たしていない場合には要請を受けないとする認識であるのか、岸田外務大臣の所見を伺いたい。

山 田 宏君 (次世代)

- ・従軍慰安婦を強制連行した事実があったと河野長官が判断した理由を本人に確認する必要があると考えますが、安倍内閣総理大臣の見解を伺いたい。
- ・従軍慰安婦問題の全ての原因は河野談話に基づくと考えますが、安倍内閣総理大臣の見解を伺いたい。また、従軍慰安婦問題の解決に向けた安倍内閣総理大臣の決意を伺いたい。
- ・台湾有事等における集団的自衛権行使の可能性について、安倍内閣総理大臣の見解を伺いたい。

桜 内 文 城君 (次世代)

- ・憲法に自衛権や自衛隊に関する規定がないこと及び今回の閣議決定が立憲主義に反するという主張について、安倍内閣総理大臣の見解を伺いたい。
- ・安全保障に関する基本法案を国会に提出して議論をす

るべきだと考えているが、安倍内閣総理大臣の見解を伺いたい。

- ・今回の閣議決定において、いわゆる「武力の行使との一体化」論を前提としていることの是非について、安倍内閣総理大臣の見解を伺いたい。

浅 尾 慶一郎君 (みんな)

- ・集団的自衛権行使の要件である「我が国と密接な関係にある他国」として米国を想定しているか、安倍内閣総理大臣の見解を伺いたい。
- ・ホルムズ海峡が封鎖された場合の集団的自衛権行使の可能性及び中東からの石油輸入の依存度が低下した場合の行使の可能性について、安倍内閣総理大臣の見解を伺いたい。
- ・集団的自衛権行使が可能になることによって我が国の安全が向上する具体的事例について、安倍内閣総理大臣の見解を伺いたい。

笠 井 亮君 (共産)

- ・安倍内閣総理大臣は、今回の閣議決定で集団的自衛権の行使を容認しても、自衛隊が戦闘行為に参加することはないとしているが、戦闘行為の定義について確認したい。
- ・今回の閣議決定において、自衛隊の活動地域が「現に戦闘行為を行っている現場」となる可能性を想定しているのではないかと、安倍内閣総理大臣に伺いたい。
- ・航空自衛隊は戦闘行為への参加を想定した米軍主導の訓練に参加しているのではないかと、防衛大臣に伺いたい。

村 上 史 好君 (生活)

- ・集団的自衛権の行使に伴うリスクにはどのようなものがあると考えられるか、安倍内閣総理大臣の見解を伺いたい。
- ・集団的自衛権の行使を容認する憲法解釈変更の閣議決定を急いだ理由を安倍内閣総理大臣に伺いたい。
- ・今般の閣議決定は、日本の安全保障政策上の大転換であると考えますが、集団的自衛権行使の是非に関して、衆議院を解散し国民に信を問う必要があるのではないかと。